

**施設名：日野市立乗鞍高原日野山荘**

**(1) 選定のポイント**

- ・市が期待する予算額をクリアしているか。
- ・経費削減等の工夫がされているか。
- ・施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。
- ・施設の利用率を向上させるための具体的な提案があるか。

**(2) 応募団体名**

株式会社レパスト  
株式会社日野市企業公社

**(3) 採点表**

6名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	㈱日野市企業公社 得点	B社 得点	配点合計
公の施設について市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されること。(第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	136	150	180点 (30点×6人)
	②だれでも利用できる配慮はなされているか。			
	③利用者の意見を反映する仕組みがあるか。			
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。			
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるものであること。(第4条第2号)	①公の施設としての効用や設置目的を発揮できるものになっているか。	338	193	360点 (60点×6人)
	②施設の利用率を向上させるための具体的な提案があるか。			
	③経費削減等の工夫がされているか。			
	④市が期待する削減額をクリアしているか。			
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること。(第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	128	160	180点 (30点×6人)
	②適正な経理処理ができるか。			
	③同種の施設管理運営実績があるか。			

	④防災・防犯等の危機管理対応策は適切であるか。			
	⑤日常的な安全管理が十分に考えられているか。			
	⑥日常的な衛生管理が十分に考えられているか。			
	⑦利用者とのトラブルの未然防止策及び対応策は適切か。			
個人情報等について適正な管理が確保されること。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	2 3	2 4	3 0 点 (5点×6人)
その他市長等が必要と認める事項。(第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	1 1 6	1 2 4	1 5 0 点 (25点×6人)
	②運営方針等から熱意・意欲が感じられるか。			
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。			
	小計	7 4 1	6 5 1	9 0 0 点 (150点×6人)
	付加点		6 0	
	合計	7 4 1	7 1 1	
	順位	1	2	

※ 審査の採点方法は、各審査項目について、配点に応じて評価点に所定の掛け率を乗じ採点した。

※ 各項目の採点基準（評価点）

- 5点 要件を十分に満たしている。
- 4点 多少工夫の余地はあるが、ほぼ要件を満たしている。
- 3点 基本的な水準を満たしている。
- 2点 多くの問題があり、基本的な水準に達していない。
- 1点 全く要件を満たしていない。

例：配点20点の場合は、評価点5点×4

※ 付加点とは、当該選定施設を現に管理運営している指定管理者が応募した場合に、過去の管理運営実績に基づいた行政評価による指定管理者導入施設検査・評価調書及び市民評価委員会による評価結果により、定められた点数を、上記審査項目得点合計に加算するものである。

< 指定管理者導入施設検査・評価調書及び市民評価委員会による評価結果 >

	評価点	付加点
1	128 点以上	+ 2 0 点
2	120 点以上 128 点未満	+ 1 5 点
3	112 点以上 120 点未満	+ 1 0 点
4	104 点以上 112 点未満	+ 5 点
5	96 点以上 104 点未満	0 点
6	88 点以上 96 点未満	- 5 点
7	80 点以上 88 点未満	- 1 0 点
8	72 点以上 80 点未満	- 1 5 点
9	72 点未満	- 2 0 点

本施設については、株式会社レパストに対して、行政評価による指定管理者導入施設検査・評価調書及び市民評価委員会による評価結果（評価点 116.4 点）に基づき、10 点×6 名=60 点の付加点を加算する。

**(4) 選定結果**

指定管理者候補者 株式会社日野市企業公社

**(5) 指定期間**

平成 22 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

**(6) 総評**

● 選定理由

- ・本施設における指定期間が 2 年間という厳しい条件にもかかわらず、施設の管理運営に伴う経費削減等の工夫がなされ、市の期待する予算額をクリアしていた。上記候補者については、本施設の管理運営について経験があること、熱意・意欲、積極性が感じられることから、経費削減を図りながら安定した公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断した。
- ・事業計画書等の内容から、施設の特性を生かしたサービスの提案がなされているため、上記候補者を選定した。

● 協定締結にあたっての要望事項

- ・指定管理料の削減、集客対策等、事業への強い意欲は感じられるものの、委託による管理運営となるため、指定管理者の指導及び監督においては、市側として十分に行い、今の管理運営の水準をキープしていくこと。
- ・採点結果として評価が良いのは、指定管理料が市の期待する削減額をクリアしていたためである。「安かろう悪かろう」にならないように注意すること。
- ・大成荘と連携したサービス、年配者をターゲットにした温泉宿「鈴蘭小屋」とのタイアップ及び若年層をターゲットにしたアウトドア体験等の企画を実施すること。
- ・経費削減のアピールはどのように実現できるか期待している。